

吉永哲道

ピアノリサイタル

～ゲンリヒ・ネイガウス流派の系譜～

program

J-F.ラモー：クラヴサン曲集より

“ため息” “上機嫌” “一つ目の巨人”

W.A.モーツァルト：ピアノソナタ ヘ長調 KV553

J.ブラームス：4つのバラード op.10

S.プロコフィエフ：バレエ音楽

〈ロメオとジュリエット〉より10の小品 op.75から
第4曲 “少女ジュリエット”

第6曲 “モンタギュー家とキャピュレット家”

第10曲 “別れの前のロメオとジュリエット”

*プログラムは変更になる場合があります。

2024

9.25 [水] 18:45開演(18:15開場)

大泉学園 ゆめりあホール

(西武池袋線「大泉学園駅」北口より徒歩1分)

全席自由 4,000円

〈主催〉音楽企画「マイルスキーヴェーチェル」

〈後援〉愛知ロシア音楽研究会／ヤマハ株式会社／認定NPOおんがくの共同作業場

チケットお問い合わせ

- 認定NPOおんがくの共同作業場
TEL:042-522-3943
<http://www.gmaweb.net/npo/>
- 音楽企画「マイルスキーヴェーチェル」
mail:mv-pro@live.jp

吉永哲道 TETSUMICHI YOSHINAGA

ロシアのピアノズム(ネイガウス流派)を徹底的に学び、響きの美しさを追求するピアニスト。その演奏は、「静寂の水面に滴る水のように、彼の音は波紋を広げる。それでいてどんなフォルティシモでも、ピアノシモが聴こえてくる」とも評され、多くの専門家から高い評価を得ている。1978年愛知県生まれ。ヤマハ音楽教室にてピアノを始め、ヤマハマスタークラス及び名古屋市立菊里高等学校音楽科を経て、1998年9月よりモスクワ国立音楽院へ留学。同音楽院本科及び大学院課程を通じ10年間、研鑽を積む。在学中、2005年本科卒業時には成績優秀者として抜擢され、モスクワ音楽院大ホールにて行われた卒業演奏会に出演した。2008年、第14回アンドラ国際ピアノコンクールにて第5位及び特別賞(スペイン人作曲家作品最優秀演奏賞)を受賞。また2016年には、第2回ロシア声楽コンクールにて最優秀伴奏者賞を受賞した。「G線上のアリア ~J.S.バッハと珠玉の小品たち」、「ピアノは歌う~音楽の宝石箱~」の2枚のCDをリリース。

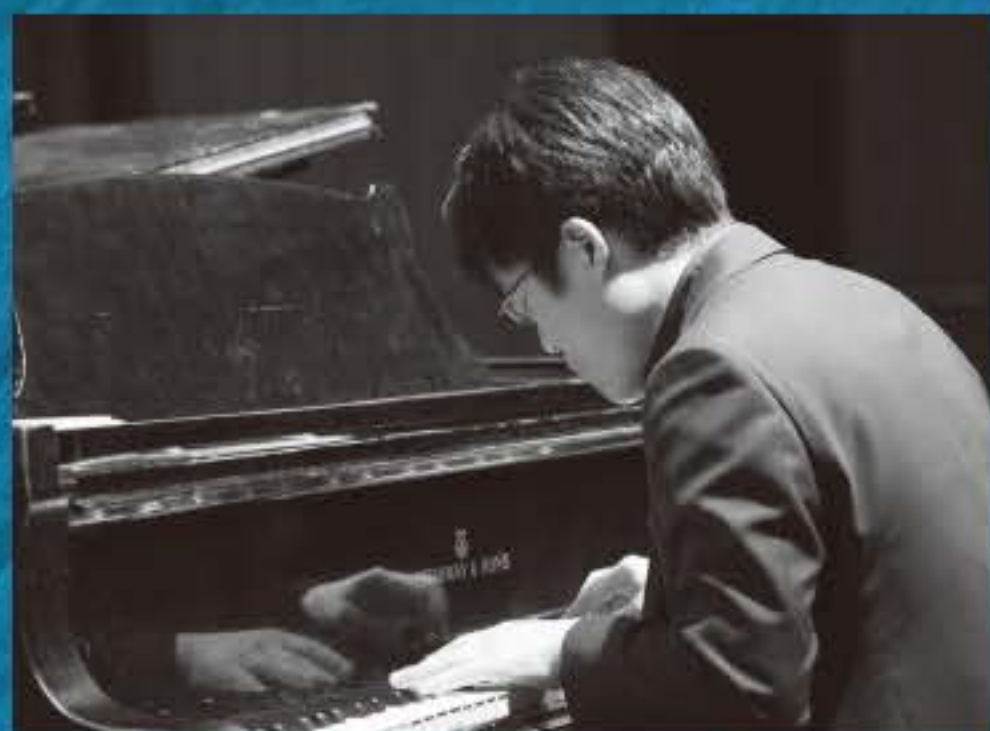
これまでに田中須美子、内藤江美、江口文子、國谷尊之、浦壁信二、ピャトラス・ゲヌーシャス、マクシム・フィリップフ、ダリヤ・ベトロヴァ、故ヴェラ・ゴルノスタエヴァ、大野眞嗣各氏に師事。現在は演奏活動とともに、ヤマハマスタークラス講師、洗足学園音楽大学非常勤講師として後進の指導にもあたっている。桐朋学園大学大学院嘱託演奏員。愛知ロシア音楽研究会会員。

オフィシャルウェブサイト <https://www.tetsumichi.jp/>

© Shigeto Imura

音色が紡ぎ出す世界。吉永哲道氏のピアノから紡ぎ出されるその立体的な音楽を聴くと、作品の世界観へと引き込まれます。知的かつ詩的でありながらも情熱的であり、しかし感情に溺れる事なく作品への深い理解と作曲家へのリスペクトを常に感じる演奏からは、吉永氏を通して作曲家の心の反映をその空間に作り出します。常に音楽への真摯な姿勢は妥協なく、聴くものの心に何かをもたらしてくれるのです。そして時にそれは時間の流れのなかに自然と存在しているものであり、芸術作品として聴くものの心が試される瞬間でもある。ピアノと言う楽器に対しての深い洞察とその研究心は技術者としての視点からも共に学び作り上げていく過程があり、国内外含め稀有な存在のピアニストとして注目に値する演奏家です。

——— 更家雅之(調律師)



会場へのアクセス

大泉学園 ゆめりあホール(6F)

〒178-0063 東京都練馬区東大泉1-29-1

西武池袋線「大泉学園」駅/北口 徒歩1分

池袋駅から 16分(西武池袋線 準急利用)

渋谷駅から 38分(東京メトロ副都心線内 急行(西武池袋線直通)利用)

